

財政シミュレーションと町の目標値の差は

【答】第6次総合計画では13パーセントを目標に

加藤 平成35年までの財政シミュレーションでは最低でも13・4%となるが町の目標13・0%との差異が生じるのはなぜか。

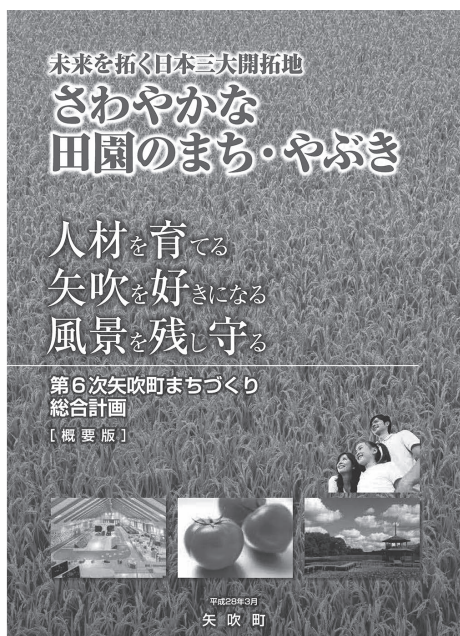
又道路整備や特養ホームには厳しい財政を訴えるが、複合施設や道の駅は建設する。これで町民に寄り添った政治と言えるか、町長の気持ちを伺う。

までの期間における想定指標を算出したものである。詳細な事業内容が未確定な状況であることから、現状では、流動的な想定を考慮しながら、財政負担のシミュレーションを行っていく必要があると考えている。本年度は、6パターンの算出条件の設定により、それぞれの条件から想定される財政指標を目安として、さらなる事業費の圧縮や平準化、財源の確保等を前提に、今後の詳細な事業の検証を推進していく。第6次矢吹町まちづくり総合計画での実質公債費比率13%の目標を目指して、健全化判断比率が安定推移となるよう、地方財政計画に基づき国の財政措置等にも注視しながら、さらなる財政規律の確立を目指していく。

町長 財政シミュレーションについては今年度作成し、健全化判断比率のうちの実質公債費比率と将来負担比率について平成35年度



かとう ひろき
加藤 宏樹 議員



第6次矢吹町まちづくり総合計画

特別養護老人ホームは

【答】平成31年度中に開設を目標に

加藤 特養ホームが(株)平成工業に選定されたが、28年6月に取りやめが表明され計画が破綻してしまった。町民の不安を取り除く為にも、たとえ赤字になろうとも町民への福祉サービスとして町が積極的に取り組むべきと考えるが町の考えを伺う。

町長 町といたしましては、できるだけ早く施設整備を進めるため、県への確認の結果、次期介護保険事業計画に施設整備を再計画する前提でスケジュールを1年前倒しすることは可能のことであるため、平成29年度に整備予定事業者を公募、選定し、平成30年度に事業着手、平成31年度中に開設というスケジュールでの施設整備について、来年度に行う次期介護保険事業計画の策定作業の

中で、介護保険運営協議会での協議によりご意見をいただきながら、検討を進めていきたいと考えている。なお、事業主体につきましては、介護保険制度における各種サービスの提供は、民間活力を大いに活かす分野であると認識しており、経済活動の活性化、本町の行政運営の適正化の視点等から、民間事業者の参入による施設整備及び運営が望ましいと考えている。

